

意見書

意見書第一号

大幅増員と夜勤改善
で安全安心の医療・
介護を求める意見書

今、医療現場は深刻な人手不足であり、安全・安心の医療・介護を実現することが大切になっていきます。そこで、次の要望をします。

- 一、ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を一日八時間、週三十二時間以内、勤務間隔を十二時間以上とすること。
- 二、医療、社会保障予算を先進国（OECD）並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
- 三、国民（患者・利用者）の負担を減らし、安全・安心に医療・介護を実現すること。

意見書第二号

地域医療存続のための
医師確保に関する
意見書

医師不足の解消や地域ごと・診療所ごとの医師編在の是正を図るために、医師臨床研修において医師の技術修得はもとより「医は仁術」という医療の基本を修得することを期し、医師不足地域での数年間の勤務義務など、医師派遣体制を構築する法的措置を講じることと求めたものです。

意見書第三号

新たな高齢者医療制度
に関する意見書

国は、高齢者医療制度改革会議の「高齢者のための新たな医療制度について（最終とりまとめ）」を受けて、法案の国会上程を検討しています。これに対し、高齢者や国民が「いつでもどこでも、安心して医療が

受けられる」制度になるよう、次のことを要望したものです。

- 一、国民健康保険への国庫負担を大幅に増やし、高すぎる保険料を引き下げること。
- 二、保険税の上昇や住民サービスの低下につながる「国保広域化」の押しつけをやめること。
- 三、七十歳から七十四歳までの患者負担割合の二割への引き上げなど大幅な負担増を盛り込んだ新制度案に反対する。

意見書第四号

介護保険制度の抜本的
改善を求める意見書

安心して老後を送るために次のことを要望したものです。

- 一、介護保険の負担増をやめ、国庫負担を抜本的に引き上げること。
- 二、ケアプラン作成に利用者負担の導入はしないこと。

三、軽度者の利用負担を引き上げないこと。

四、食費や居住費を軽減する補給給付は公費負担で行うこと。

五、安心して老後を暮らせるよう、介護施設の拡充を行うこと。

意見書第五号

消費税増税に反対す
る意見書

菅首相は、消費税増税を盛り込んだ「税と社会保障の一体改革」の政府案をまとめるとしている。これは、「消費税は四年間はあげない」とした公約にも反している。244兆円に達する

大企業の内部留保と利益を雇用と中小企業を守り、国民に還元し、大企業や大資産家への減税をやめ、応分の負担を求める財政・税制の抜本的改革を行い、国民の所得と暮らしを直撃する消費税の増税を行わないことを求めたものです。

東日本大震災に支援を

町議会全員

協議会開く

町議会は、三月十八日に全員協議会を開催し、東日本大震災に関する標茶町の支援対策について説明を受け、協議しました。

また、町議会としても議員全員が拠出して、義援金二十万円を日本赤十字社とおして被災地に届けました。



役場から二回目の支援物資

第一回定例会 議会公口誌から

- 十二月八日 議会運営委員会
- 十二月九日 標茶町第四期総合計画に関する調査特別委員会
- 十二月二十日 広報調査特別委員会
- 十二月二十四日 釧路公立大学事務組合議会
- 一月七日 広報調査特別委員会
- 一月十一日 広報調査特別委員会
- 一月十四日 広報調査特別委員会
- 一月十七日 産業建設委員会
- 一月十八日 広報調査特別委員会
- 一月十九日 広報調査特別委員会
- 一月十九日 総務委員会
- 一月二十一日 標茶町第四期総合計画に関する調査特別委員会
- 一月三十一日 厚生文教委員会
- 二月四日 標茶町第四期総合計画に関する調査特別委員会
- 二月四日 議会運営委員会
- 二月二十一日 議会運営委員会
- 二月二十二日 第一回臨時会
- 二月二十五日 川上郡衛生処理組合議会
- 二月二十五日 釧路北部消防事務組合議会
- 三月一日 議会運営委員会
- 三月四日～九日 第一回定例会



TPPセミナー 金子 勝氏の講演 - 3月24日 -

編集後記

三月十一日東北関東地方に大地震が発生、住民を直撃しました。

犠牲になられた多くの方々に対し謹んで哀悼の意を表します。

大地震・大津波・原子力発電所の被災と風評被害などで生活基盤を喪失された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、一日も早い被災者の方々への心の回復と被災地の復興を願うと共に心から支援したいと思えます。議会としてもただちに支援の取組を行ったところです。

さて今号は第一回定例会、第一回臨時会の模様を掲載しましたが懸命に仕上げさせていただきました。

今号で私たち委員は二年間の任期が終わりこの「議会だより」八十号がお手もとに届くころには新しい議員が選出され、新しい広報委員によって引き継がれていくことと思えます。

これまで町民の皆様には「議会だより」をご愛読頂きましたこと、また、貴重なご意見等頂きましたこと心からお礼を申し上げます。

広報調査特別委員会

(文責 末柄 薫)

委員長 末柄 薫

黒沼 俊幸

副委員長 田中 敏文

平川 昌昭

深見 迪

標茶町議会アドレス <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/yakuba/gikai/>